

学校マネジメント（目標達成マネジメントツールの一層の活用）

【事例】豊後大野市立犬飼中学校：生徒数75名

好事例のポイント

- ・学校評価の4点セットをマネジメントツールの最上位として、学校経営プランが作成されている。また、学年経営案、教科経営案も4点セット等と連動させ明示されている。
- ・教科経営案と学年経営案、分掌経営案を目標管理に連動させるシステムが整っている。

平成30年度 学校経営 一覧表

犬飼中学校

TRY① 分掌経営組織 ～戦略 戦術向上～

学校評価4点セット

重点目標	達成指標 アンケートより	重点的取組	取組指標	評価
学校 教科経営	H31. 1月1. 2年市統一テスト 低学力層15%以下 H31. 3月 3年入試合格 100%	組織的な朝学習の取組 ・火・水・木の朝自習8:05～25に(出欠確認以外)全教員が付き、個に応じた支援・指導をする。	毎月1回	
家庭	「中1・中2・中3家庭学習」の実施率90%以上 前期、後期の学校公開日での地域の授業参観者総数、75人以上	「家庭学習の約束」を守るように動かし、関わらせる 「家庭学習の約束」を基に、家庭学習のルールやスケジュールを見直す。21時以降のマホ・ネット制限	学期1回	
地域		授業公開日に積極的に授業参観者	学校の要請に応じ、学習サポーターとして授業に関わる	
観点				
基礎・基本の学力+ABC	1 「課題」と「まとめ・ふり返し」の「1時間完結型授業」の推進 2 宿題提出徹底と量の調整 3 朝自習(毎日20分)で基礎基本の徹底	取組内容 中で、調査・体験活動等を行い整理・分析・考察する場を設定する。 取組指標 (2)ペアやグループで意見交換する場を単元に1回設定する。 ◇総合的な学習の時間を中心にテーマを決めたプロジェクト型学習を年間2回とり入れる。 ◇学期ごとに研修部会の中にアンケートやワークシート等で検証・改善を図る。	学力向上部会	〇〇
学びに向かう力	4 UD「1時間の見直し」提示 5 授業の心構えと生徒会STARマークプロジェクトの徹底	検証指標 (2)意見交流を通して、自分の意見を深め、根拠をもって発表することができたという生徒を80%以上にする。		〇〇
知	6 総合的な学習の時間での「あじみそ」問題解決授業の研究			〇〇
地域連携ふるさと学習	7 学校公開日(月1回)の活用 8 教科横断的指導とCMの活用			〇〇
特別支援教育	9 個別指導計画の実施 10 個別支援計画の実施			〇〇
図書館教育	11 授業における図書館利用の充実			〇〇
体	12 水曜ラン(毎週水曜日)の徹底 13 チャレンジレース(年間6回)で自己ベストをめざす	重点的取組 1校1実践「チャレンジレース」 体育主任・生徒会担当で企画・運営。		〇〇
食育	14 食事のマナーやバランスのよい食事ができる 15 歯磨き指導の徹底	取組指標 毎週水曜日15:00～15:20「水曜ラン」の実施		〇〇
防災安全の教育	16 年間3回以上の危機管理マニュアルの検証(避難訓練等) 17 「命の授業」の実施			〇〇

学校評価4点セット

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価
学校 学年経営	【学期の1回の生徒アンケート結果】 ★集会時の時間厳守・静かに整列・教師の指示なしでできた 90%以上	「生徒指導3機能」の充実と活用 各家庭での朝のあいさつ 朝の交通指導時のあいさつ	学期1回	
家庭	★いつでもどこでも誰にでも気持ちの伝わる挨拶ができてくる生徒 90%以上			
地域		地域行事他授業の支援で生徒との関わりをもつ		

いじめ対策・不登校支援プラン

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	学年部
楽しい学校	18 ①いつでも、どこでも、だれにでも 気持ちが伝わる「あいさつ」 19 ②時間厳守チャームで全員一斉スタート&エンド 20 ③身だしなみ・靴箱、傘立て整理整頓！ 21 ④心をつなぐ縦割りそうじ	重点的取組 (2)「初期対応」・不登校生徒への支援と関係機関との連携 (2)「学校復帰支援」・不登校対策委員会を常設化し、SC・SSW・地域生徒支援コーディネーターを含めたケース会議を実施し、長期欠席生徒に対応する	学年部	〇〇
あじみそ+ABC	22 人権・平和教育の日常化(校則等の徹底)	取組指標 ・毎朝 朝朝5分 遅刻・欠席確認(情報交換) ・縦朝で「犬中あったかハート1. 2. 3」対応確認(情報の収集) ハート① いつでもどこでも声かけ ハート② いつでもどこでも存在感(教室や廊下活動) ハート③ いつでもどこでも協力(友人関係の再構築) ・犬中あったかハートアンケートを各学期に実施(実態把握)		〇〇
道徳教育郷土学	23 生徒理解の情報共有 24 犬中「いじめ防止基本方針」の検証 25 勤労体験活動等で豊かな心づくり 26 地域人材・ボランティアの活用した課題解決学習 27 郷土愛を育てる総合的な学習の時間との関連			〇〇

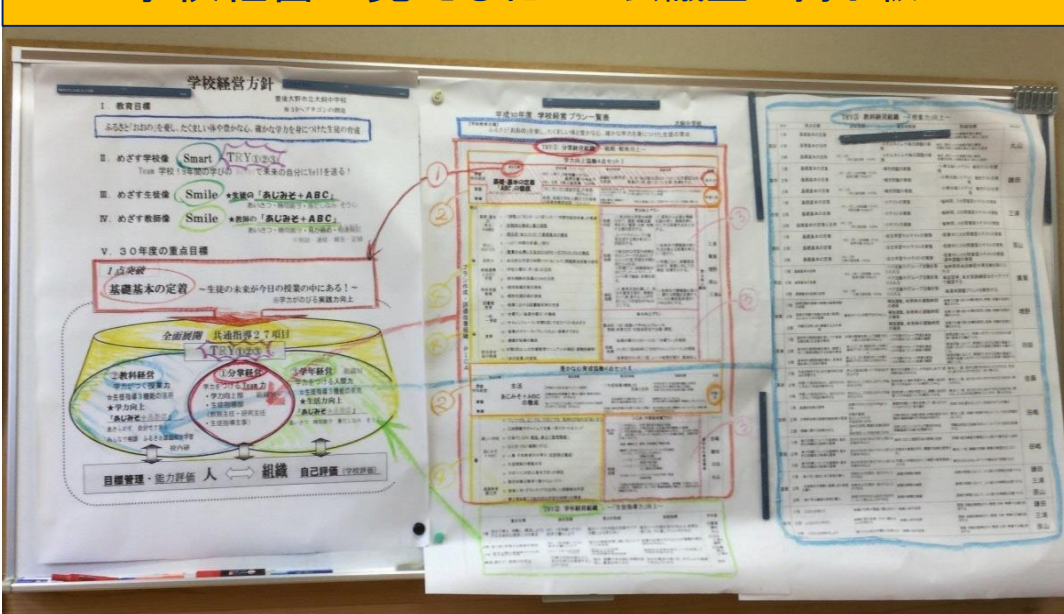
TRY② 学年経営組織 ～「生徒指導力」向上～

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	学年部
1年	自分で考え、判断し、解決しようとする主体的な態度と力の育成	H31. 1月市統一テスト 低学力層4人以下	毎日ノートの内容の充実やペア活動による学び合い	◎△△ △△△ △△△
2年	粘り強く学習する態度の育成	H31. 1月市統一テスト 低学力層3人以下	毎日の家庭学習に個に応じたプリントを作成	◎△△ △△△ △△△
3年	低学力層の基礎基本の充実 苦手教科の克服	H31. 3月入試合格 100%	毎日ノートの充実 新研究の活用 生活時間の有効活用	◎△△ △△△ △△△
特支	読む力、表現力の向上	文章の内容を読みとり、自分の考えを表現することができる	毎日、新聞や本を読む時間を設定し、意見を持たせる	△△

TRY③ 教科経営組織 ～「授業力」向上～

学年	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標
国語	1年 基礎基本の定着	H31. 1月1. 2年市統一テスト、低学力層15%以下	・スキルタイムや毎日課題の実施	毎日、漢字ノートの課題学習の実施 ・辞書を活用した時間を単元1回以上設定
	2年 基礎基本の活用		・スキルタイムや毎日課題の実施	毎日、漢字ノートの課題学習の実施 ・辞書を活用した時間を単元1回以上設定
	3年 基礎基本の活用	H31. 3月 3年入試合格 100%	・スキルタイムや毎日課題の実施	毎日、漢字ノートの課題学習の実施 ・辞書を活用した時間を単元1回以上設定
数学	1年 基礎基本の定着	H31. 1月1. 2年市統一テスト、低学力層15%以下	・補充問題の実施	・小単元毎に小テスト、補充テストを実施
	2年 基礎基本の定着		・補充問題の実施	・小単元毎に小テスト、補充テストを実施
	3年 基礎基本の定着	H31. 3月 3年入試合格 100%	・補充問題の実施	・小単元毎に小テスト、補充テストを実施
社会	1年 基礎基本の定着	H31. 1月1. 2年市統一テスト、低学力層15%以下	・小テストの実施	・毎時間、3分間復習小テストの実施
	2年 基礎基本の定着		・小テストの実施	・毎時間、3分間復習小テストの実施
	3年 基礎基本の定着と活用	H31. 3月 3年入試合格 100%	・小テストの実施	・毎時間、3分間復習小テストの実施
理科	1年 基礎基本の定着	H31. 1月1. 2年市統一テスト、低学力層15%以下	・自主学習や小テストの実施	・授業中に3分間復習小テストの実施
	2年 基礎基本の定着		・自主学習や小テストの実施	・授業中に3分間復習小テストの実施
	3年 基礎基本の定着	H31. 3月 3年入試合格 100%	・自主学習や小テストの実施	・授業中に3分間復習小テストの実施 ・週末課題の実施
英語	1年 基礎基本の定着	H31. 1月1. 2年市統一テスト、低学力層15%以下	・ペア活動やグループ活動を取り入れる	・毎時間英会話練習の帯活動を取り入れる
	2年 基礎基本の定着		・ペア活動やグループ活動を取り入れる	・単語習得、本文音読練習はすべてペアで確認する
	3年 基礎基本の定着と活用	H31. 3月 3年入試合格 100%	・ペア活動やグループ活動を取り入れる	・毎週末課題プリントを配布する
体育	1年 体育活動の基礎や保健の基礎知識の定着		補強運動、体育時の運動時間の確保	授業での振り返りの場を設定し技能、知識の定着の場をはかる。
	2年 基礎的な知識や技能の定着と表現し伝える力の育成	新体力テスト全国平均60%以上	補強運動、体育時の運動時間の確保	授業での振り返りの場を設定し技能、知識の定着の場をはかる。
	3年 知識を活用し自ら実践する力の育成		補強運動、体育時の運動時間の確保	授業での振り返りの場を設定し技能、知識の定着の場をはかる。
音楽	1年 基本的な表現技能を身につけ音楽活動を楽しむ生徒の育成	合唱や器楽を楽しく演奏できたと言える生徒80%以上	・ペア活動やグループ学習を実施 ・UDの視点に立った授業の展開	表現活動において、仲間へのアドバイスを自分の言葉で表現する場をつくる。
	2年 基本的な表現技能を高め、創意工夫して表現活動する生徒の育成		・ペア活動やグループ学習を実施 ・UDの視点に立った授業の展開	表現活動において、表現を工夫する活動の場面や、仲間へのアドバイスを自分の言葉で表現する場をつくる。

学校経営の見える化 ～会議室の掲示板～

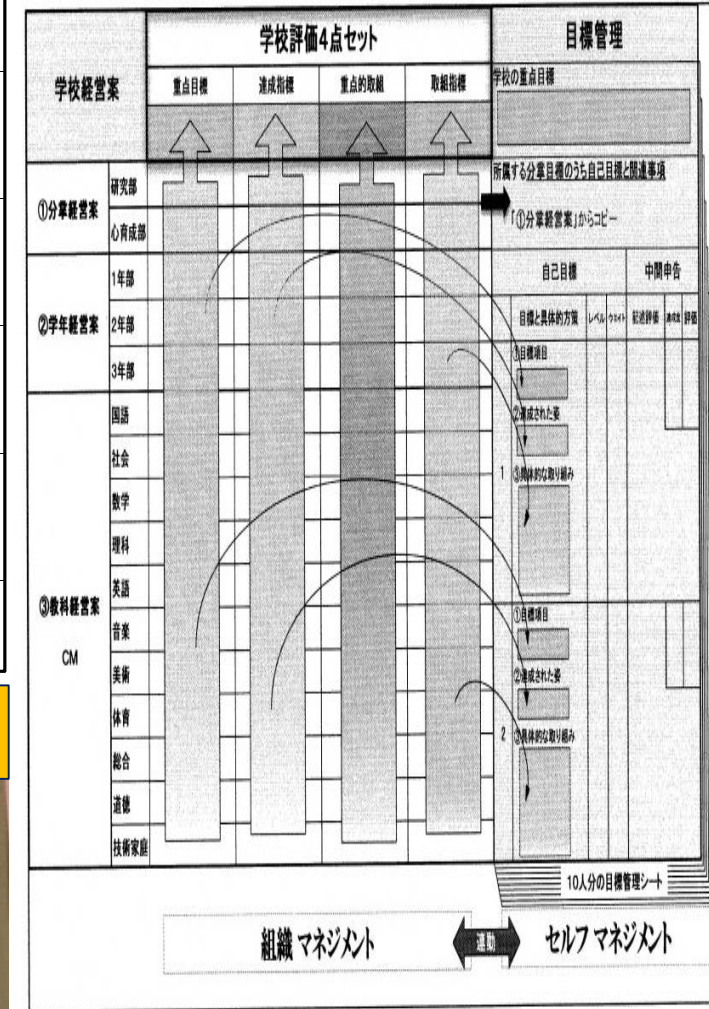


人事異動で教職員が入替わっても、学校経営の全体像と分掌・教科・学年経営が一目でわかる「学校経営一覧表」を作成。更に教職員全体でのワークショップ型研修で共通理解を図っている。すべての経営案とプランは4点セットの視点で整理している。※目標管理シートとの連動を図るため。

組織と人を繋ぐツール活用

観点Ⅲ 重点目標・分掌等目標・自己目標の連動

TRY①②③



目標管理シートの作成
①「3つの仕事」分掌経営、学年経営、教科経営の中から、優先順位の高い2つを選択。
※面談では選択内容と優先順位をチェックし、学校運営上の立ち位置を確認する。
②選択したら各4点セットをPCでコピー貼り付けで、まず完成。
※面談で、管理職・主任、から指摘された点は、目標管理シートで修正されると同時に各経営案にも反映される。

自己評価と目標管理シートの関連
・目標達成マネジメントを短期に設定し、毎月実施される自己評価。重点目標が1つなので観点に絞りやすく、密度の濃いSharpな話し合いが期待される。
・焦点を絞った話し合いで、自分の学年経営や教科経営を見直すことは、目標管理シートの評価記述へ連動していく。

取組についての評価等

- (1) 分掌経営組織が中心となって取組を進めており、芯の通った学校経営がなされている。
- (2) 「重点目標・分掌等目標・自己目標の連動」が示され、重点目標と個人目標(目標管理)との連動が見られ、主要主任が指導助言できる体制が整備されている。